七夕日刊
磐城時報

福島縣石城郡平紺屋町十四町
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　新聚活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢一ヶ月金參拾錢
廣告料一行壹四字詰金壹錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

稻作減收地の救濟策を協議

來る十五日頃から神尾技師各村に出張

石城郡に於て昨秋早冷のため稻作が五割以上の減收を來した反別は

▲田人、荷路夫、石住、貝泊　四十九町歩

▲三阪、澤渡　三百九十九町歩

▲永戸、箕輪　三十五町歩

▲川前　百二十七町歩

で合計六百十一町歩に達しこれを金額に見積ると莫大な額に達するので其筋では之が救濟策を講究中であるが、石城郡駐在神尾農林技師は縣當局の意嚮に從ひ來る十五日頃から以上各村に出張し被害者を各區長宅或は最寄の場所に集め具体的の救濟策を講ずる事になつたが、大体の方針として左の如き事項を實行せんとしてゐる。

▲救濟策

一、木炭材の國有林野拂下斡旋
二、耕地整理又は土地改良事業の施行に依る被害の除去並勞銀の取得
三、町村營土木工事又は縣費支辨工事の施行に依る勞銀の取得
四、製紙原料、桑條剝皮の奬勵並に販賣斡旋其他の副業奬勵
五、麥及び馬鈴薯等の補助食糧の增殖奬勵
六、種穀並種苗の購入斡旋
七、肥料資金其他に要する低資融通
八、食糧品の購入斡旋
九、食糧品又は種苗種穀の鐵道運賃減免交渉
十、地租附加税又は特別地税の減免
十一、救濟のため使用する町村各種積立金の運用
十二、義務教育費國庫負擔金の增額配當
十三、罹災救助法による種穀の給與

石城郡町村長會

石城郡町村長會は十一日午前九時半より元石城郡會議室に開催四年度豫算並に支會事業について協議し終つて午後五時から谷口樓に新年宴會を催すと。

地下採堀反對のため伏見町長等出仙

町會の決議を携へて

磐城炭礦會社が出願した平町地下採堀問題は仙臺鑛山監督局が香の新しい驛舍に引越すはずであるが二月より六月迄の四ヶ月間は乘降人員と改築の人夫とで芋洗ひの混雜を呈すであらうと驛務一切を處理し七月早々木の

委員をあげ百七に交渉

玉川村の預金

石城郡玉川村では當時銀行休業續出におびえて公金三千余圓を百七銀行平支店に預金してゐたが、同行も舊臘中休業したゝめ非常に狼狽し善後策を講究した結果取敢ず同行支店に支拂ひ方を懇願することに近く一致近く委員をあげて交渉する筈である

が、石城郡下の町村中公金を百七に預金したのは玉川村だけであると。

▲第三校委員會

平町第三小學校新築委員會は來る十日頃平町役場に於て開催校舍敷地買收の件を附議協議する筈であるが買收費は坪三圓平均で買收總額は約一萬三千圓位に見積られて居りこれが買取決定と同時に着工する由である。

四倉小學校に覆面の強盜

去る四日午後十一時頃四倉小學校内に年齢三十五六歳覆面をし兇器を持つた賊が押し入り教員室を物色したが金目のものがないので宿直室に至り高岡教員に對し金を出せと脅迫したが、高岡教員は之に抵抗したので賊は一物も得ずに逃走した。四倉署では直ちに非常線を張つたが犯人未だ捕はれない。

問題が起る九面隧道

石城郡勿來町より隣縣多賀郡平潟町へ通ずる縣境の國道九面トンネルは茨城、福島の二縣の管理に屬してゐる爲め改修工事も二縣分擔の上行つて來たが、それ等の關係で管理は自然放任に陷る傾向あるので屢々問題にされてゐたところ、最近に又々右トンネルの崩潰箇所改修問題で平土木監督所と隣縣大澤土木監督所間に紛糾が起り側杖を喰つた通行人のみが舊臘中より少からず迷惑を來してゐる九面トンネルの改修工事は兩縣の豫算が常に異なつてゐる以上合理的の起工を見ることはちと困難であるとの輿論も相當あるので、今後は茨城縣か本縣かの何れにか移管されるものと豫定されてゐる右につき平土木監督所で語る九面隧道は茨城と本縣の二縣共同管理に屬してるため屢々問題が起つてゐたが本年度から主に福島縣が工事を行ひ費用の半分を茨城縣より請求することに決定し取敢ず四年度に四萬二千圓を投じ本縣事業としてこんどの崩潰個所を修理することに決定したから今後問題は起らぬと思ふ　云々

日延べして大損害

豊間村大敷網は昨年秋網が非常に豊漁で十數萬圓の漁獲をなしたので、十二月三十一日で打切る豫定であつたのを十日間日延べする事となり漁夫百五十名に二十圓宛を給し網入れした處、去る一日から二日にかけた暴風のため網が全部目茶苦茶に切らされ大損害を蒙り、七日で打切る事になつた、十日間日延べの損害約一萬圓である。

鞍替え藝妓を慕ひ追ひかけて情死

磐城銀行の預金係

平町胡摩澤居住磐城銀行預金係員内田勝治（二四）は去る二日から相馬郡中村町に至り同町字袋町旅館兼料理店西山旅館に投宿してゐたが四日午前二時頃同町藝妓置屋三業事西山與吉方抱藝妓小米事平町南町生れスガ四女佐々木とめる（二四）と猫イラズをのみ合意の情死を企て苦悶し始めたのを女中が發見し同町横山醫師を呼んで應急手當を施したので兩名共一命を取り止め勝治は六日平町に歸り自宅で靜養中である。

藝妓小米は昨年迄平町田町竹の家事員木隆四郎方に竹千代として藝妓を勤めてゐるうち勝治と戀におち逢瀬をつゞけてゐるうち中村町に鞍替えになつたもので、勝治は女戀しさに中村町に至り夫婦になれぬのを悲觀して情死を計つたものであつた。

自轉車の鑑札交附

平警察署では町役場當局の應援を受け平町四丁目郵便局新築敷地に於て今七日より九日まで三日間改正された自轉車鑑札の交附をなすが、應せざる者に對しては縣令に依つて片つ端しから處罰すると。

福わ内會節分豆蒔

平町福わ内會の節分豆蒔會は二月三日午後一時から縣社子鍬倉神社に於て行ふ筈で會費三十錢會員には福豆、祈禱札を配り五人に一人の割に金製大黑像を添える由である。

▲井戸に轉落

江名町南町漁夫寅吉長男戸田傳吉（二八）は五日午前自宅裏手の井戸に水汲みに行き井戸の中に顚落溺死した、原因は同人は性來の癲癇持ちで當日も持病が起つて顚落したものと判明した。

▲無錢で遊興

岩手縣岩井郡瀧澤村生れ當時住所不定無職鳶職長内好松（三三）は四日午後六時頃湯本町飲食店小林亭事飯田ナツ方に登樓し酌婦佐藤キク（二三）を相手に飲酒し逃走したのを六日平署に捕はれた。

ライト寫眞館寫場完成

廉價で迅速なため好評を博して

ゐたライト寫眞館は今回平町搔槌小路魁文堂東隣に理想的な寫場を完成し移轉したが、館主高田二果氏は双葉郡出身東京正則英語學校を卒業後明治三十九年八月渡米し、英領カナダ、メキシコ、カリホルニア州ロスアンゼルス等殆んど全米國に於て大正十一年十一月迄寫眞營業を營み、その中數年間は名優チャップリンのダートレー會社の活動寫眞技師を勤め、米國の風土、産業狀態を映寫しては之を日本に紹介し、日本の風景其他を撮影するため前後二回來朝してそのフイルムを米國に紹介した等寫眞術には優れたる技倆を有する人で、歸朝後日活會社が一ヶ月二百五十圓の給料で同氏を抱えやうとした際震災に遭ひ平町に來つた人で、それ以來數年、同氏の寫眞が優れてゐる事は既に一般の定評になつてゐる。

十二の少年 萬引さ

内郷村大字高坂磐城炭礦坑夫定次郎長男宮尋常小學校五年生山内健太郎(十二)は六日平町に活動寫眞見物に來り歸途平驛前平デパートメントストアー店先きで石鹸、萬年筆、雜誌等を萬引して立ち去つた處を驛前小林巡査に捕はれ平署で親を呼び出し説諭の上歸宅せしめた。

靜かな讀書

磐中二年　小林忠郎

秋になりました。床しい秋の山が私の勉强室からくつきりと見えます。滿山紅の錦を着て今其の榮華を誇つてゐますだが、その豪奢はすぐ衰へるのです、山の中腹のやゝ凹んだ地面に林があります、形のよい木ばかり立つてゐます、その木は皆丈が高く細いものです、その根本には美しい秋草が木を綴つてゐます。

元氣のよい日にはこの林を太陽が輝しかます、すると影が形を現します、それは細長く横に、或は縱に、私はよくこの林で讀書します、林の中へ入ると頭の上の空は手拭を切つたようにいくつにもあらはれてゐます。そして秋の氣節を味ふてゐると木の葉が私の本の上に舞ふて落ちてきます邊は木の葉が散る音で靜寂を破られてゐます、時折びわの一群がこの林の上を見え隱れに飛んで行きます、私は讀書をしに行くのではなくなつて了ひます、私は四季を觀察しに行くのだらう、それは私にもわかりません。

あの林の中に入ると一種不可思議な感が起るのです、諸君も一度は靜かな所で考へて見なさい。

四倉には海岸にも山中にその適地はあります、其處で感じられる事柄は各々違ふでせう

ライト寫眞館
移轉御披露
從來平町仲田町に於て營業致居候處今回左記に理想的の寫場を完成し移轉仕候間倍舊の御引立に預り度く願上候
平町搔槌小路(魁文堂隣)
ライト寫眞館　電話八四七番

四倉驛前(電話五九番)
賀正　磐城興業株式會社
社長　根本權次郎

コールタールの元祖
オ二タビ

青應山家傳
中風靈藥　定價(一週分一・九〇　二週分一・七〇　三週分三・五〇)
男女中風症、腦溢血、動脈硬化症、逆上引下げ、頭痛言語難澁、半身不隨、其他中風より起る諸症に偉効を奏す　是非御試用を勸む
代理店　平町五丁目角　山野邊藥局

主婦之友三秀會製品
新春の帶側陳列會
時　一月十二日　十三日
所　弊店階上
三井吳服店
銘仙　モスリン　錦紗・御召　御用命下さい

鳥季節御料理
よせなべ類
天丼
致します
平町南町平舘隣り
蒲燒　鰻　魚榮
電話四四二番

印刷物は加納活版所

外科
花柳病科　專門
平町六丁目橋際
木村外科醫院
電話三〇九番

新築移轉御披露(平町南町舊診療所向)
耳鼻咽喉科　專門
氣管食道科
病室完備…自炊の便あり
平町南町　電話一七〇番　大和田醫院

大學脫腸帶
子供さんの脫腸は必ず全治します　大人の脫腸は必ず止まります
大學ぢ押へ帶
このぢ押へ帶の出現は患者の福音です
代理店　平町四丁目　電話一四四　小野屋藥舗
◆照會には親切に御答へします　説明書も送ります

專門
X光線科
平町南町
上田外科醫院
電話一二九番

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社
代理店　西村屋藥舗
平町二丁目　電話三番

◉良品廉賣に勝る商略なし!!!
磐城セメント會社特約店
和洋銅鐵金物問屋　㊫釜屋商店
磐城平　電話一九一三九番
◉確實敏捷は㊫の生命なり!!!

最新式大寫眞場完成
(二十五日開業)
時代の進歩に伴ひまして寫眞撮影場の大改革を計劃し工事中の處完成致しました。就ては從來のものより一層優れたる寫眞を御覽に入れ得る事と自信して居ます。何卒倍舊の御後援御引立の程を懇願奉ります
平町南町川岸通り(電話六一五番)
岡山寫眞館　館主敬白

二葉印刷所
平町字仲町
電話七三四番

既成品
御注文品
勉强
高島屋洋服店
平町驛前通り
電話八〇七番